

【広島市消費者物価指数】

1 平成 27 年 1 月の動向

- 広島市総合指数（102.8）は前月比で同水準。前年同月比は 19 か月連続の上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数（102.2）は前月比で2か月ぶりの下落。前年同月比は 19 か月連続の上昇。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（99.8）は前月比で2か月ぶりの下落。前年同月比は 16 か月連続の上昇。

2 総合指数, 生鮮食品を除く総合指数, 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	102.8	0.0	2.7
生鮮食品を除く総合指数	102.2	▲0.5	2.3
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	99.8	▲0.5	1.8

3 前月からの動き

～食料は上昇, 被服及び履物, 交通・通信は下落。～

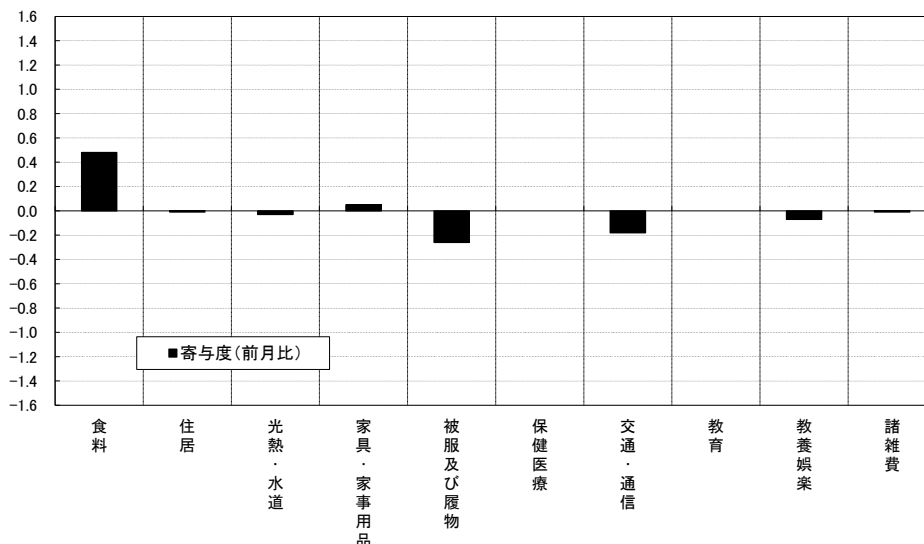
(1) 10 大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	102.8	107.5	99.5	112.9	93.2	99.1	100.1	102.5	98.2	95.6	109.1
前月比 (%)	0.0	1.8	▲0.1	▲0.3	1.5	▲5.6	0.0	▲1.3	0.0	▲0.6	▲0.1
寄与度	0.0	0.48	▲0.01	▲0.03	0.05	▲0.26	0.00	▲0.18	0.00	▲0.07	▲0.01

(参考) 主な要因となっている 10 大費目について, 寄与の大きかった中分類項目

- 食 料: 野菜・海藻 (前月比 9.4%, 寄与度 0.24) 等
- 被服及び履物: 洋 服 (前月比 ▲9.3%, 寄与度 ▲0.18) 等
- 交通・通信: 自動車等関係費 (前月比 ▲2.2%, 寄与度 ▲0.16) 等

図 1 10 大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度: 物価全体(総合)の上昇(下落)に, 各費目がどれだけ影響したかを示したものの。本来, 寄与度の合計は, 総合指数の前(年同)月に対する変化率となるが, 四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
野菜・海藻 (えのきだけ 等)	9.4%	洋服 (婦人コート 等)	▲9.3%
果物	21.6%	自動車等関係費 (ガソリン 等)	▲2.2%
肉類 (鶏肉 等)	1.9%	教養娯楽サービス (外国パック旅行 等)	▲1.5%
家事雑貨 (タオル 等)	2.8%	他の被服類 (マフラー 等)	▲12.6%
家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	2.5%	穀類 (カレーパン 等)	▲2.5%

4 前年同月からの動き

～食料, 教養娯楽及び光熱・水道は上昇, 教育は下落。～

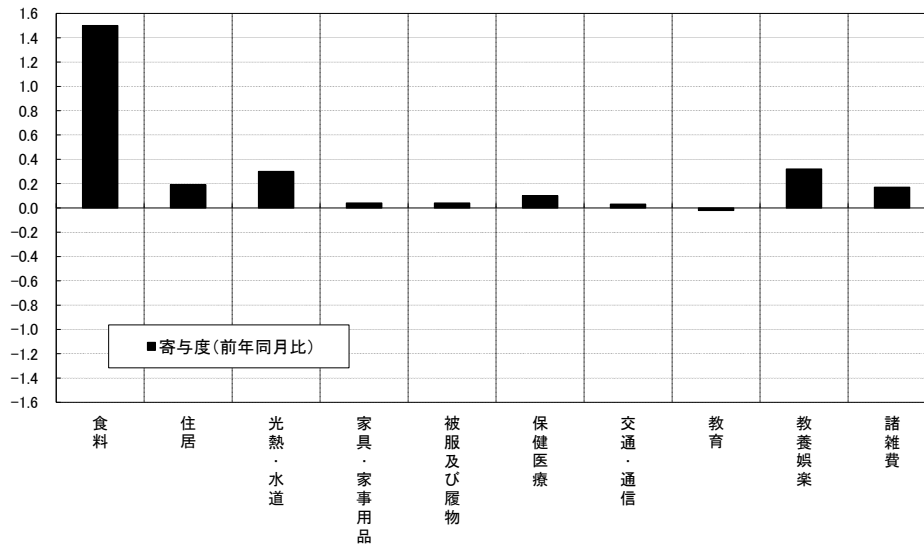
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	2.7	5.8	1.0	3.6	1.0	0.9	2.2	0.2	▲0.7	3.0	2.6
寄与度	2.7	1.50	0.19	0.30	0.04	0.04	0.10	0.03	▲0.02	0.32	0.17

(参考) 主な要因となっている10大費目について, 寄与の大きかった中分類項目

- 食料: 魚介類 (前年同月比 13.2%, 寄与度 0.30) 等
- 教養娯楽: 教養娯楽サービス (前年同月比 3.1%, 寄与度 0.18) 等
- 光熱・水道: 電気代 (前年同月比 5.0%, 寄与度 0.19) 等
- 教育: 補習教育 (前年同月比 ▲9.0%, 寄与度 ▲0.05) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
魚介類 (ぶり 等)	13.2%	自動車等関係費 (ガソリン 等)	▲2.7%
外食 (焼肉 等)	4.6%	シャツ・セーター類 (婦人Tシャツ[長袖] 等)	▲10.8%
交通 (高速自動車国道料金 等)	8.2%	補習教育 (補習教育[小学校] 等)	▲9.0%
肉類 (豚肉[もも] 等)	8.2%	他の光熱 (灯油)	▲11.0%
電気代 (電気代)	5.0%	穀類 (うるち米 等)	▲1.9%